

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月28日更新

事務事業名		図書館職員研修事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	前田 美和
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	図書館班	(内線)	2536
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10949	法令根拠	成果優先度評価結果	: ⑫
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民の文化及び教養の向上を図るための図書館の運営について、携わる従事者の資質向上のため研修等への参加を行う。図書館建設計画時より先進自治体の状況視察より開始した。図書館建設後は、職員の資質向上のための研修を主に行っている。 * 24年度予算から(10948図書館協会等参画事業)に統合した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	県立図書館等が主催の研修への参加
【主な予算費目】	
【意見や要望】	研修先での良いところを取り入れながら業務をおこなっているため利用者からは好評である。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	県立図書館・県教育委員会主催研修及び菊池鹿本地区の意見交換会に参加した	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 23年度と同様研修等へ参加を行う。 * 24年度予算から(10948図書館協会等参画事業)に統合した。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:研修の回数	(単位) 回 予算の主な増減の理由 * 24年度予算から(10948図書館協会等参画事業)に統合した。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	職員	(単位) 人 ア:職員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	図書館間の連携により職員の資質を高める 情報の交換により図書館情報等を共有する	(単位) 人 ア:研修への参加人数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
研修への参加することが、資質を高め成果を向上させるため。業務との兼ね合いもあり、多くの研修に参加したいが現状どおりの人数とした。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①	活動指標	ア 回	6	10	6	9				
②	対象指標	ア 人	32	32	32	32				
③	成果指標	ア 人	21	23	30	35				
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	6	5	5	5				
	延べ業務時間	時間	30	80	16	88				
(B)人件費計		千円	119	329	65	355				
トータルコスト(A)+(B)		千円	119	329	65	355				

事務事業名	図書館職員研修事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 23年度は県主催の研修会の日程にこちらの都合がつかずに多く参加できなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 23年度は県主催の研修会の日程にこちらの都合がつかずに多く参加できなかった。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 日程の都合がつけば多く参加できるため	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 より多くの研修等を行い、現状をどうしていくかを検討することにより成果の向上余地がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総務課主催の研修に参加することで連携が図られるが、専門的部分の研修については統合できる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 削減の余地なし。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 研修のための人件費のみであり、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 研修の成果をあげるにより、より多くの方に利用していただけるため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 職員の研修の事業であり適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

職員の異動や新規採用等もあり、図書館の業務を行うにあたり資質を向上するために研修は重要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 県立図書館等が開催する講座を研修の機会とし、24年度からは図書館協会等参画事業に統合する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 研修は、図書館等参画事業の中で現状どおり実施していく。																					